

## 数学オリンピック財団から 6

財団理事長 小林一章

今年は第50回国際数学オリンピック大会（IMO）が7月14日から21日までドイツのブレーメンで行われ、そのための国内予選、本選が2009年1月12日（成人の日）と2月11日（建国記念の日）に行われました。文部科学省、日本科学技術振興機構（JST）等の支援、当財団の努力も有りまして、数学オリンピックの周知度も上がりまして、JMO 予選応募者1833名、受験者1726名となり、昨年に比較して応募者256名増、参加者250名増となりました。またJJMO（ジュニア）は応募者1008名、参加者946名であり、これも昨年に比べ応募者で90名増、参加者87名増でした。現在は会場数もJMO、JJMO 合わせて67会場となり、各都道府県で1会場以上で開催されています。今年は新しい事業としてJJMO も予選、本選を行い、JJMO から直接春の強化合宿参加への道を開きました。予選通過者はJMO 101名、JJMO 83名で本選にはJMO が99名、JJMO 74名が参加しました。本選はJMO、JJMO 合わせて10会場で行われました。本選を勝ち抜き、春の強化合宿へ進んだ選手はJMO から21名（内1名欠席）、JJMO から5名でした。今年及び過去の春合宿参加者が参加有資格者となるアジア太平洋数学オリンピック（APMO）が3月10日に行われ、参加者は29名でその内上位10名の成績を、今年の主催国である韓国に送りました。国内本選成績優秀者及びAPMO 成績上位10名の選手名は以下の通りです。

### 国内本選成績優秀者 JMO

金賞	今村 志郎	灘高等学校	2年
銀賞	保坂 和宏	開成高等学校	2年
銀賞	副島 真	筑波大学附属駒場高等学校	2年
銀賞	岸川 滉央	久留米大学附設高等学校	1年
銅賞	滝間 太基	筑波大学附属駒場高等学校	2年
銅賞	古川 角歩	旭丘高等学校	1年

以下成績優秀者 15名 （学年は、2009年3月現在）

### 国内本選成績優秀者 JJMO

金賞	佐藤 遼太郎	秀光中等教育学校	3年
金賞	北村 拓真	灘中学校	2年
銀賞	大川 達也	栄光学園中学校	2年
銀賞	三谷 庸	灘中学校	1年
銀賞	南 海舟	西大和学園中学校	2年
銅賞	山岸 颯	筑波大学附属中学校	1年
銅賞	吉田 健祐	筑波大学附属中学校	3年

銅賞	峰岸 龍	青島北中学校	3年
銅賞	本保 太郎	灘中学校	2年
銅賞	新家 健太	白陵中学校	3年
銅賞	埴原 紀宏	ラ・サール中学校	3年

(学年は、2009年3月現在)

#### APMO 成績上位10名

1.	副島 真	筑波大学附属駒場高等学校	2年
2.	保坂 和宏	開成高等学校	2年
3.	滝間 太基	筑波大学附属駒場高等学校	2年
4.	檜垣 元秀	筑波大学附属駒場高等学校	2年
5.	原 将己	筑波大学附属駒場中学校	3年
6.	若月 駿	開成高等学校	2年
7.	石川 卓	北摂三田高等学校	2年
8.	関 典史	灘高等学校	3年
9.	漢那 雷惟音	栄光学園高等学校	2年
10.	野山 友幸	筑波大学附属高等学校	2年

(学年は、2009年3月現在)

APMO での戦績は5月中に主催国の韓国から報告が有る予定です。

春の強化合宿中に4回のコンテストを行い、その結果により、次の6名の選手が今年のドイツ大会への日本代表に選ばれました。

保坂 和宏	開成高等学校	3年
今村 志郎	灘高等学校	3年
石川 卓	北摂三田高等学校	3年
岸川 滉央	久留米大学附設高等学校	2年
副島 真	筑波大学附属駒場高等学校	3年
滝間 太基	筑波大学附属駒場高等学校	3年

今年は日本代表6名中5名が3年生で、このようなことは最近は有りませんでした。最後の世界大会ですので頑張ってもらいたいものです。また来年は新顔に大いにチャンスがあるとも言えます。初の事業であった JJMO からの強化合宿直接参加で、ここから日本代表は選出されませんでした。もう一歩という選手もいました。

また昨年度から始めた JJMO の地区表彰は今年も続けており、各中学校長から表彰していただくことをお願いしてあります。今年は JMO の地区表彰も計画しています。